ジュニア指導者育成事業としての将来展望

奈良県軟式野球連盟としては、学童野球について次の方向性での事業展開を考えています。

１．公認コーチ資格制度の導入
２．肘検診の連盟イベント化
３．予選会の支部グループ制
４．学童野球登録エリアの拡大
５．大会運営における新ルールの検討

2023年1月15日　奈良県軟式野球連盟

1. 公認コーチ資格制度の導入

「どんな指導者を目指すのか？」を奈良県全体で理想像を共有するべきと考えています。これは、軟式野球連盟(学童)だけのものではなく、生涯スポーツとして、野球界がひとつになって、育んでいくものであるべきと考えます。
サッカーやラグビーなどは、有資格者でないと指導者にはなれません。
野球は当たり前のように選ばれるスポーツではなくなっています。
このままでいいのでしょうか？
「指導者こそ学び続けなければならない。学ぶことをやめたとき、教えることをやめるべき。」ではないでしょうか。

2021年度から奈良県にて「JSPO公認コーチ1」講習会を開催しています。
今後も継続して奈良県での開催を考えておりますので、是非とも自発的に受講してもらいたいですが、まだまだ自分の経験や考えだけで指導出来ると思っておられる指導者が多いため、次のルール作りを考えております。

1. 公認コーチ資格制度の導入

全日本軟式野球連盟　指導者資格要件まとめ

全日本軟式野球連盟としては、「公認学童コーチ」「公認コーチ1」「公認コーチ3」「スポ少認定員」何れかの資格があれば可。
スポーツ少年団としては、指導者として登録するにあたり「スポ少認定員」の資格取得は必須。ただし、公認コーチ1取得者は一部免除申請が可能。
しかし「スポ少認定員」の講習は、共通科目のみのカリキュラムであることから、公認コーチ1（共通科目、専門科目）の資格取得を推奨する。
スポ少認定員資格取得の場合、公認コーチ1の共通科目は免除申請が可能。
※一般については、A級（国体）、マスターズ登録チームの指導者は公認コーチ1または3の取得が必要。

JSPO資格

公認コーチ3

公認コーチ1

全日本軟式野球連盟　学童指導者資格要件

2024年からはベンチに入る方（監督が望ましい）で最低1名は「スポ少認定員」「公認学童コーチ」「公認コーチ1」「公認コーチ3」の何れかを取得していることがチーム登録時の必須条件となる。
各支部または県連でチェックが必要。

JSBB資格
公認学童コーチ

スポーツ少年団指導者資格要件

スポ少に登録する場合「スポ少認定員」の資格取得は必須。 ただし、公認コーチ1取得者は一部免除申請が可能。

スタートコーチ

1. 公認コーチ資格制度の導入

奈良県軟式野球連盟　が目指す要件

2026年度から奈良県軟式野球連盟としては、監督が公認コーチ1、3、JSBB学童コーチ、スポ少スタートコーチの何れかの資格を取得することを義務付ける。
本来であれば、監督にはコーチ1または3を取得してもらいたいところではあるが、最低限、全軟連の資格要件を満たすように義務付ける。

またチームとしては、代表者または監督の何れかが公認コーチ1または3を取得することを義務付ける。

監督は以下4つの内何れかの資格取得が必要

- 公認コーチ3
- 公認コーチ1
- スタートコーチ
- JSBB資格 公認学童コーチ

代表者または監督の何れか最低1人有資格者が必要

資格要件だけを考えるのではなく、指導者としてのステップアップ、知識のアップデートが必要！

例えば、監督が公認コーチ1または3を取得している場合はそれで要件は満たす。
監督がスタートコーチまたは学童コーチの取得のみであれば、代表または監督がコーチ1または3の取得が必要。

2. 肘検診の連盟イベント化

選手登録時、および年1回の受診必須

「NPO法人奈良スポーツ育成選手を守る会」と連携して、肘検診の実施。

- 2023年10月29日(日)　例年と同じく肘検診を行う予定。
- 今後は、この日を「野球をする子どもたちの健康について考える日」として奈良県軟式野球連盟のイベントとして設定する。
- 指導者は4年生以上の選手に、必ず肘検診を受けさせなければならない。受診できない場合は理由を添えること。
- 個人は用事で参加できなくても仕方ないが、問題はチームの指導者が子どもたちの健康を優先に考えることができるかが大事。

３．予選会の支部グループ制

- 支部を継続することが難しい程、競技者人口もチーム数も少なくなっている。
- 支部間のチーム数格差もあり、不公平感を感じていたり、予選会の重みが大きく違っていたりと、モチベーション維持にも影響がある。
- 今後の方向性として、支部の再編に向かって検討したいと考えているが、まずは、予選会の支部グループ化を進める。県内を8つのグループに分け、グループごとに知事杯、ろうきん杯は2チームずつ、選手権大会は4チームずつを県大会に選出する。
- **2024年度**より運用スタート。

<table>
<tr><th></th><th>現支部</th><th colspan="2">予選会グループ</th><th>チーム数</th></tr>
<tr><td>1</td><td>奈良</td><td>1</td><td>奈良（北和）</td><td>19チーム</td></tr>
<tr><td>2</td><td>郡山</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">郡山・天理（北和）</td><td rowspan="2">13チーム</td></tr>
<tr><td>3</td><td>天理</td></tr>
<tr><td>4</td><td>生駒市</td><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">生駒市・生駒郡（北和）</td><td rowspan="2">13チーム</td></tr>
<tr><td>5</td><td>生駒郡</td></tr>
<tr><td>6</td><td>北葛</td><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">北葛・高田（西和）</td><td rowspan="2">17チーム</td></tr>
<tr><td>7</td><td>高田</td></tr>
<tr><td>8</td><td>香芝</td><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">香芝・葛城（西和）</td><td rowspan="2">13チーム</td></tr>
<tr><td>9</td><td>葛城</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th></th><th>現支部</th><th colspan="2">予選会グループ</th><th>チーム数</th></tr>
<tr><td>10</td><td>橿原</td><td>6</td><td>橿原（中和）</td><td>14チーム</td></tr>
<tr><td>11</td><td>桜井</td><td rowspan="3">7</td><td rowspan="3">桜井・磯城・宇陀（中和）</td><td rowspan="3">16チーム</td></tr>
<tr><td>12</td><td>磯城</td></tr>
<tr><td>13</td><td>宇陀</td></tr>
<tr><td>14</td><td>五條</td><td rowspan="4">8</td><td rowspan="4">五條・御所・吉野・高市（南和）</td><td rowspan="4">14チーム</td></tr>
<tr><td>15</td><td>御所</td></tr>
<tr><td>16</td><td>吉野</td></tr>
<tr><td>17</td><td>高市</td></tr>
</table>

4．学童野球登録エリアの拡大

- 2023年度シーズンより在住の支部が属するブロック内であれば、どのチームにでも選手登録可とする。
- ブロック外で住所と隣接する支部に限り、登録を認める。なお、受け入れ側の支部長は居住地が含まれる支部の支部長に登録書の写しを提出すること。
- 生駒郡支部は西和ブロック⇒北和ブロックへ移管する。
- これは前項「3．予選会の支部グループ制」を実施するにあたっての再編となる。
- 「3．予選会のグループ制」運用開始は2024年度からとするが、選手登録に於けるブロックについては2023年度から適用とする。

現支部		ブロック
1	奈良	北和ブロック
2	郡山	
3	天理	
4	生駒市	
5	生駒郡	
6	北葛	西和ブロック
7	高田	
8	香芝	
9	葛城	
10	橿原	中和ブロック
11	桜井	
12	磯城	
13	宇陀	
14	五條	南和ブロック
15	御所	
16	吉野	
17	高市	

4. 学童野球登録エリアの拡大

- シーズン中の移籍について、基本的には認められないが、ハラスメントを理由とする場合に限り、ブロック内外への移籍を認める。
  ※全日本軟式野球連盟の規定に従う
- なお、スポーツ少年団の登録については、奈良県スポーツ協会の定めにより、在住の市町村にスポーツ少年団があれば、その団体にしか登録はできない。

現支部		ブロック
1	奈良	北和ブロック
2	郡山	
3	天理	
4	生駒市	
5	生駒郡	
6	北葛	西和ブロック
7	高田	
8	香芝	
9	葛城	
10	橿原	中和ブロック
11	桜井	
12	磯城	
13	宇陀	
14	五條	南和ブロック
15	御所	
16	吉野	
17	高市	

4. 学童野球登録エリアの拡大

	支部	隣接する支部
北和	奈良	桜井　宇陀
	生駒市	
	天理	磯城　桜井
	郡山	磯城
	生駒郡	北葛　磯城
中和	磯城	郡山　天理　生駒郡　北葛
	桜井	天理　奈良　吉野　高市
	宇陀	奈良　吉野
	橿原	高市　御所　高田　北葛

	支部	隣接する支部
西和	北葛	生駒郡　磯城
	香芝	
	葛城	御所
	高田	橿原　御所
南和	御所	葛城　高田　橿原
	五條	
	高市	橿原　桜井
	吉野	桜井　宇陀

4．学童野球登録エリアの拡大

≪例≫奈良支部（北和ブロック）の場合

①北和ブロック内であればどのチームに登録することも可能。

②宇陀支部（中和ブロック）はブロック外であるが、隣接しているので登録が可能。

③磯城支部や橿原支部（中和ブロック）はブロック外であり、隣接もしていないので登録は不可。

5. 大会運営における新ルールの検討

- 県代表を決める必要がある大会は従来通りの運営で行うが、新設する大会について、プレーヤー中心となるルールでの開催を検討したい。

  例えば…
  「監督、コーチは絶対に怒らない」
  「サインなし」「リーグ戦制」「全員が打席に立たなければならない」
  「全員が出場しなければならない」「一回交代しても再度出場できる」
  「ボールカウントはストライクのみでフォアボールなし」　などなど

- 元バレーボール日本代表　益子直美さん
  「監督が怒ってはいけない大会」を参考に。

HEROsAWARD2022益子直美「監督が怒ってはいけない大会」

絶対に怒ってはいけないバレーボール大会